

プレスリリース

T: +1 514.332.4000

最新の Genetec フィジカルセキュリティ状況レポート 2025 年版では、ハイブリッドクラウド導入の急速な進展と IT 分野での戦略的影響の増大が明らかに

調査のハイライトはクラウドや AI 導入アプローチでの目的指向の取り組み

モントリオール、2024 年 12 月 5 日 - 企業向けフィジカルセキュリティソフトウェアのグローバルリーダーである [Genetec Inc.](#)(「Genetec」)は、本日、[フィジカルセキュリティ状況レポート 2025 年版](#)を公開しました。世界中の 5600 名のフィジカルセキュリティリーダーの方々（エンドユーザー、チャネルパートナー、システムインテグレーターを含む）の回答をベースとし、フィジカルセキュリティ オペレーションの包括的な分析と進展しつつあるトレンドを網羅しています。

企業が柔軟性とコントロールを求めるとハイブリッドクラウド導入が成長

企業がフィジカルセキュリティ向けのクラウドソリューションを評価するとき、ほとんどの企業は、運用上のニーズ、予算範囲や必要なストレージ要件を満たすハイブリッド戦略を取っています。こうした実用的で柔軟なアプローチにより、重要なデータとアプリケーションをオンプレミスとクラウドの両方を活用して管理できます。

本レポートでは、エンドユーザーの 43%が今後 5 年以内にハイブリッド導入を指向するアプローチとして想定しているのに対し、完全なクラウドベースでの実装を有効な選択としているのは 18%で、全体をオンプレミスとすることを計画しているのはわずか 17%でした。このハイブリッドクラウド指向は、コンサルタントやチャネルパートナーも同様の傾向で、コンサルタントの 66%が今後 5 年以内にハイブリッド導入を推奨する予定です。

このデータは、移行が現実的に可能な導入モデルに対する需要の高まりを反映しているだけでなく、業界の成熟に伴い、クラウド導入への慎重なアプローチとなっていることが強く表れています。

企業は、オペレーションの実務、クラウドによるコスト変化や絶えず新しい対応が求められるセキュリティ要件にフォーカスすることで、その必要性に応じたペースとコストでクラウドの導入を成功させることができる立場を得られます。

「ハイブリッドクラウド導入アプローチは、"すべてかゼロか"ではありません。企業は、さまざまな場所にシステムをどのように導入・設置するかを完全にコントロールできます。このオープンなエコシステムにより、オンプレミスでもクラウドでも、固有のソリューションに縛られることなくビジネスのニーズを満たすことができ、不要な妥協をすることなく最高のテクノロジーを実装できます。これにより、システムはより迅速に導入可能となり、スケールの拡大、アップグレードのプロセスを合理化し、最も効率的かつ効果的な方法でセキュリティ体制を強化することができます」と、Genetec の製品エンジニアリング担当副社長である Christian Morin は述べています。

IT 部門は意思決定の中核的な存在に

一昔前までは、大規模なフィジカルセキュリティシステムは、通常、セキュリティ部門の選任担当者によって管理されていました。しかし、クラウドおよびハイブリッドクラウドソリューションやサイバーセキュリティの脅威の増大、およびフィジカルおよびデジタルセキュリティを同じように管理する必要性から、IT チームはフィジカルセキュリティシステムの選択や導入において、ますます重要な役割を果たすようになっていきます。

本レポートで、エンドユーザーの 77%は、現在、フィジカルセキュリティと IT 部門が協力関係にあると述べています。さらに、IT 部門は購買プロセスにおいてもさらなる役割を担っており、エンドユーザー、システムインテグレーター、コンサルタントの 50%以上が、IT チームがフィジカルセキュリティの購入決定に積極的に関与していると回答しています。

「フィジカルセキュリティの役割が広がるに伴い、組織が人々とデジタルネットワークの両方のセキュリティを確保するための手段を再定義しています。IT がクラウドやハイブリッドソリューションの実装の最前線にあるため、フィジカルセキュリティオペレーションはレジリエンス能力を高め、データ主導となり、進化する脅威に適応することが可能になっています。」と、Christian Morin は続けます。

業界が実践的な用途を優先するのに伴い AI の活用が拡大

また、本レポートは、フィジカルセキュリティにおける AI の活用への関心が顕著に高まり、エンドユーザーの 37% が 2025 年に AI を活用した機能を実装することを計画しており、これは 2024 年のわずか 10% から大きく増加しています。この関心の高まりは、戦略的で目的主導のアプローチと一致しています。エンドユーザーの 42% が AI をセキュリティ運用を合理化するためのツールと見なしており、インテリジェントな自動化を究極の目標に、脅威の検出の改善や日常的なプロセスの自動化といった実用面での活用に焦点を当てています。

調査方法

Genetec は、2024 年 8 月 12 日から 9 月 15 日まで、フィジカルセキュリティ プロフェッショナルを対象に調査を実施しました。回収されたデータの整理とレビューの後、5,696 人分の回答（エンドユーザー、チャネルパートナー、コンサルタントを含む）が分析対象のデータとなりました。調査は、北米、中央アメリカ、カリブ、南米、ヨーロッパ、中東、アフリカ、東アジア、南アジア、東南アジア、中央アジア、西アジア、オーストラリア - ニュージーランドを含むすべての地域で実施されています。

-- 以上 --

Genetecについて

Genetec Inc.は、25年以上におよびフィジカルセキュリティ業界を変革してきたグローバルテクノロジー企業です。現在、弊社は企業、政府、および私たちが暮らす地域社会のセキュリティ、インテリジェンスおよびオペレーションの改善を目的にデザインされたソリューションを開発しています。その主力製品であるSecurity Centerは、IPベースのビデオ監視、入退室管理、自動ナンバープレート認識（ALPR）、通信、分析機能が統合されたオープンアーキテクチャプラットフォームです。カナダのモントリオールに本社を置くGenetecは1997年に設立され、159カ国を超える国々において、代理店、インテグレータ、認定チャネルパートナー、およびコンサルタントの幅広いネットワークを通じて世界中のお客様にサービスを提供しています。

Genetecの詳細については、www.genetec.com/jaをご覧ください。

©Genetec Inc., 2023. GenetecおよびGenetecのロゴはGenetec Inc.の商標であり、それぞれの地域で登録されているか、または登録申請中です。この文書で使用されているその他の商標は、各製品の製造元または販売元の商標です。

本リリースに関するお問い合わせ先：

Véronique Froment

HighRez

Veronique@highrezpr.com

Tel: +1 603.537.9248